

# CASBEE 柏[戸建]

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 柏[戸建] (2010年版)

■使用評価ソフト: CASBEE-kashiwa\_H(DH)\_2010.v.1.2

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	MIDEAS(ミディアス)	竣工	仕様等の確定状況	建物の仕様 持ち込み家電等 外構の仕様	確定 確定 確定
竣工年月	2012年9月	竣工	〈備考〉		
建設地	千葉県柏市若柴	確定			
用途地域	第1種住居地域	確定	評価の実施日		
省エネルギー地域区分	IV	確定			
構造・構法	枠組壁工法	確定	作成者		
階数	地上2階	確定			
敷地面積	305 m <sup>2</sup>	確定	確認日		
建築面積	107 m <sup>2</sup>	確定			
延床面積	169 m <sup>2</sup>	仮	確認者		
世帯人数	4	仮			



### 2-1 すまいの環境効率 (BEEランク&チャート)

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

BEE=1.0

環境品質 Q

環境負荷 L

### 2-2 大項目の評価 (レーダーチャート)

Q1 室内環境を快適・健康・安心にする

Q2 長く使い続ける

Q3 まちなみ・生態系を豊かにする

LR1 エネルギーと水を大切に使う

LR2 資源を大切に使いゴミを減らす

LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

### 2-3 ライフサイクルCO<sub>2</sub> (温暖化影響チャート)

建設 修繕・更新・解体 居住

参照値

評価対象

(kg-CO<sub>2</sub>/年m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 4.3

LR のスコア = 4.1

項目	スコア
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	4.2
Q2 長く使い続ける	4.4
Q3 まちなみ・生態系を豊かにする	4.6
LR1 エネルギーと水を大切に使う	4.5
LR2 資源を大切に使いゴミを減らす	4.2
LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する	3.8

3 設計上の配慮事項		
総合	環境にやさしく高断熱・高気密住宅である木の家ツーバイフォー工法を基本とし、自然の力を活用したパッシブ・エコと太陽の光と熱を効率的に住まいのエネルギーに変えるアクティブ・エコ、エネルギーを無駄なく上手に使うスマート設備、さらに全館空調を始めとする快適設備を取り込んだ次世代の「スマート2×4(ツーバイフォー)」の家として設計を行った。	
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	Q2 長く使い続ける	Q3 まちなみ・生態系を豊かにする
省エネルギー対策等級4を超える断熱仕様を採用、性能の高いサッシを用いることにより断熱と通風・採光の両立を図っている。また、F☆☆☆☆の建材を用い、全館空調の採用や適切な換気計画を行うなど室内環境を快適・健康にするための配慮	構造躯体の「耐震等級」や「劣化対策等級」、「維持管理対策等級(専用配管)」を最高等級にするほか、長期保証や定期点検制度を設け、維持管理やリフォームなどのサポート体制を築き、長く暮らし継がれていく家となるよう体制の整備・充実を	建物周囲に十分なスペースを設けるとともに敷地内の見通しを良くすることで、地域の安全・安心に配慮している。また、生物の生息環境を創出するよう植栽の樹種や配置に工夫しているほか、接道部の照明や塀についても通りを演出するよう
LR1 エネルギーと水を大切に使う	LR2 資源を大切に使いゴミを減らす	LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する
躯体の断熱性能を省エネルギー対策等級4を超える仕様にするとともに、ヒートポンプ式給湯やヘッダー給排水の採用、HEMSの採用などの工夫によりエネルギー使用量の低減に努めている。また10kWを超える太陽光発電を設置するなど省エネルギーにも積極的に取り組み、CO <sub>2</sub> 排出抑制への配慮も	持続可能な森林から算出された木材の使用を積極的に行っているほか、プレカットやパネリ化、ごみの分別、リサイクル材の活用推進などにより、廃棄物の削減に努めている。また仕様書にメーカー名や製品名、型番を記載し、使用材料が特定できるよう情報の提供を行っている。	敷地内の緑化をはかり、舗装に透水性の高い材料の採用するなど地域環境への配慮を行っている。また植栽に地域自生種を用いるなど既存の自然環境の保全にも努めている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency (建築物総合環境性能評価システム)  
 ■Q: Quality (すまいの環境品質), L: Load (すまいの環境負荷), LR: Load Reduction (すまいの環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (すまいの環境効率)  
 ■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい(戸建)の場合、BEE<sub>H</sub>、Q<sub>H</sub>、LR<sub>H</sub>などとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃業に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q<sub>H</sub>2、LR<sub>H</sub>1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される

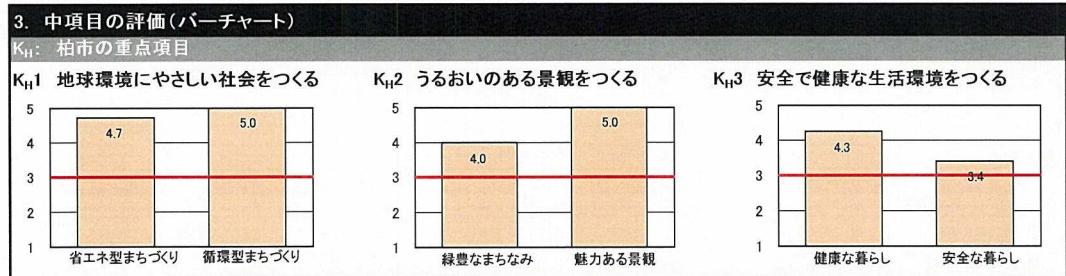


# CASBEE 柏[戸建] 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 柏[戸建] (2010年版) ■使用評価ソフト: CASBEE-kashiwa\_H(DH)\_2010.v.1.2

1 建物概要	
建物名称 MIDEAS(ミディアス)	すまいの環境効率 (BEEランク) S ★★★★★

2 重点項目への取組み度		
重点項目	取組み度※(得点/満点)	評価結果
K <sub>H1</sub> 地球環境にやさしい社会をつくる	 4.8 / 5.0	すばらしい 
K <sub>H2</sub> うるおいのある景観をつくる	 4.5 / 5.0	すばらしい 
K <sub>H3</sub> 安全で健康な生活環境をつくる	 3.8 / 5.0	よい 
※ 対応するCASBEEのスコアと主な指標を元に、独自に設定された条件で評価をします。(左記は評価結果の凡例)	すばらしい 4点以上 	よい 3点以上 
		がんばろう 3点未満 



4. 設計上の配慮事項	
<p><b>K<sub>H1</sub> 地球環境にやさしい社会をつくる</b></p> <p>10kWの太陽光発電を装着して創エネに努めるとともに、高効率給湯器やLED照明、IHクッキングヒーターを採用するなど設備の省エネ化も併せて行っている。</p> <p>構造材の過半に「持続可能な森林から生産された木材」を使用するとともに既築物件のリユース材を利用するなど建物本体の省資源・廃棄物抑制を図っている。また雨水タンクを設置して散水に利用するほか、生ごみ処理機を設置して家庭から出るごみの削減に努めている。</p>	<p><b>スコアシート</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>省エネ型まちづくり                     <ul style="list-style-type: none"> <li>1.1 冷暖房設備 スコア 5.0</li> <li>1.2 給湯機器 スコア 5.0</li> <li>1.3 照明/家電/厨房機器 スコア 4.0</li> <li>1.4 エネルギー利用効率化設備 スコア 5.0</li> </ul> </li> <li>循環型まちづくり                     <ul style="list-style-type: none"> <li>2.1 雨水の利用 スコア 4.0</li> <li>2.2 省資源・廃棄物抑制 スコア 5.0</li> <li>2.3 生産・施工段階における廃棄物削減 スコア 5.0</li> <li>2.4 生ごみ処理設備の設置 設置の有無 ○</li> <li>2.5 雨水浸透樹の設置 設置の有無 -</li> </ul> </li> </ol>
<p><b>K<sub>H2</sub> うるおいのある景観をつくる</b></p> <p>外構面積に50%以上の緑地を確保するとともに、高木・中低木に郷土種を採用するなど緑豊かな街並み形成に配慮している。</p> <p>高木・中木をバランスよく配し、その間に低木や地被植あるいは多孔質の材料を用いることで、野鳥や昆虫の生息環境や移動経路の創出に努めている。また、建物意匠と周辺環境にあわせて外構計画を作成することで魅力ある景観形成に努めている。</p>	<p><b>スコアシート</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>緑豊かなまちなみ                     <ul style="list-style-type: none"> <li>1.1 敷地内の緑化 スコア 5.0</li> <li>1.2 既存の自然環境の保全 スコア 3.0</li> </ul> </li> <li>魅力ある景観                     <ul style="list-style-type: none"> <li>2.1 まちなみ・景観への配慮 スコア 5.0</li> <li>2.2 生物の生息環境の確保 スコア 3.0</li> <li>2.3 道路沿いの緑化 緑視率の確保 ○</li> </ul> </li> </ol>
<p><b>K<sub>H3</sub> 安全で健康な生活環境をつくる</b></p> <p>1階の間仕切りを少なく大きな吹抜けを設けることでゆとりある空間作りに配慮した。また、適切な換気計画を行い、構造材・内装材にホルムアルデヒド放散の少ない☆☆☆☆材を使用することにより室内空気環境にも配慮した。</p> <p>日本住宅性能表示の「3-1 劣化対策等級(構造躯体)」における等級3を満たす高い耐久性を有する躯体仕様としたほか、敷地内の見通しや避難路・消火活動空間の確保に努めるなど安全な生活環境を確保するための工夫を行っている。</p>	<p><b>スコアシート</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>健康な暮らし                     <ul style="list-style-type: none"> <li>1.1 化学汚染物質の対策 スコア 5.0</li> <li>1.2 適切な換気計画 スコア 5.0</li> <li>1.3 広さと間取り スコア 5.0</li> <li>1.4 バリアフリー スコア 2.0</li> </ul> </li> <li>安全な暮らし                     <ul style="list-style-type: none"> <li>2.1 犯罪に備える スコア 1.0</li> <li>2.2 自然災害に耐える スコア 5.0</li> <li>2.3 火災に備える スコア 3.0</li> <li>2.4 地域の安全・安心 スコア 5.0</li> </ul> </li> </ol>